



あいさつであふれる学校に

安城市立明和小学校 6年 江坂 咲月

明和小の学級委員会では、明和っ子のあいさつを増やすために、「あいさつ運動」を始めました。毎日、学級委員が朝礼台に立ち、帰りのあいさつをします。あいさつをするときには、「地域の人に進んであいさつをしましょう」「大きく、元気よくあいさつをしましょう」と声をかけています。これからも毎日声をかけて、明和小を明るくしていきたいです。



〈大きく、元気なあいさつをしよう！〉

募金活動を通して

豊田市立足助中学校 3年 天野 友喜

足助中学校の環境・JRC委員会では、豪雨や地震により被災した地域に対し、募金活動を行いました。この募金活動を通して、被災した地域の大変さを知る良い機会になりました。今後も学校全体で災害を受けた地域に関心をもち、積極的に関わっていく気持ちを大切にしていきたいです。



〈登校時に募金活動を行う〉

知ることの大切さ

名古屋市立新郊中学校 1年 吉田 千咲

コロナで大変な今、自分たちにできることはないかを考えました。世界には、マスク等の衛生キットを手に入れることができない子どもたちがいることを知り、募金に取り組むことにしました。集会で現状と募金の使い道について説明し、理解を得られたことでたくさんの募金が集まりました。自分たちにもできることの第一歩を踏み出せたと思います。



〈新型コロナウイルス緊急募金〉

コロナを元気でぶっ飛ばそう

武豊町立武豊中学校 3年 中島 優歩

武豊中学校では、コロナ禍でも明るい学校にしたいと思い、あいさつ運動を行いました。生徒会役員が間隔を空けて昇降口に並び、笑顔を変えた元気なあいさつが武豊中学校に響きました。マスク越しでのあいさつとなりましたが、少しでも気持ちの良い1日のスタートになることを願い取り組みました。企画が大成功に終わり、前よりあいさつがあふれる学校になったと思います。これからも元気で明るい学校を目指します。



〈気持ちの良いあいさつで始まる1日〉

あいち青少年赤十字

No.131 令和3年1月発行

日本赤十字社愛知県支部
〒461-8561 名古屋市中区白樺一丁目50番地
TEL(052) 971-1599 FAX(052) 971-1590
ホームページアドレス <http://www.aichi.jrc.or.jp/>

人間を救うのは人間だ

Together for humanity

一緒に考えよう

～今わたしたちができることを～

一人一人を認め合う学校に

豊川市立御油小学校 6年 石川 遥斗

新型コロナウイルスのため、全校放送で集会を行っています。人権集会では、児童会役員が人権とは何かを分かってもらうために、テレビ放送を使ってクイズや読み聞かせなどを企画して行いました。人それぞれ違うところがあるのは当たり前であることを理解し、違いを認め合える学校をつくっていききたいと思います。



〈みんなの人権について考えようね〉

手を取り合って

至学館高等学校 2年 松尾 直幸

私たち至学館高等学校のJRC部は、部員17名で「今わたしたちができること」を考え、行動に移すようにしています。今年度の主な取り組みについては、学習会（コロナ関連・障害者スポーツ・手話）を通し授業形式で知識の共有をし、また献血ボランティアへの参加をすることで個々のボランティア意識の向上に励んでいます。今後も継続的に学習会を開き、部員の増員や理解に努めます。



〈献血ボランティア初挑戦！〉



〈授業形式での学習会〉

一人一人を大切に

扶桑町立扶桑東小学校 5年 森 彩由奈

福祉実践教室を通して、障がい者や高齢者の気持ちを学びました。そして、ふだんの私たちが生活していて、かんたんにできることができなくてすごく大変だということに気づきました。私は、福祉実践教室を通して、相手のことを思いやることが大切と分かったので、どんな人でも、一人一人を大切にしていきたいです。



〈車いす体験〉

地域に役立てる大人に

岡崎市立城北中学校 3年 片山 花

地域のために、家の近くのごみを拾いながら登校する活動を行いました。しかし、思ったほどごみは集まりません。私たちと同じように考え、活動する地域の高齢者の方々のことを知りました。これからも地域のために、気づき・考え・実行する人たちの住む城北であり続けられるよう地域の方の思いを受け継いでいきたいと思います。



〈地域のために〉

支部通信

気づき・考え・実行する
青少年赤十字



青少年赤十字は
2022年に
100周年を
迎えます

青少年赤十字(JRC=Junior Red Cross)ってなあに

青少年赤十字の始まりは、「気づき」から

青少年赤十字は、1914年から1918年に起きた第一次世界大戦で苦しむヨーロッパの人々を慰め励ますために、アメリカ・カナダ・オーストラリア・イタリアの学校の先生と生徒が、手紙やプレゼントなど赤十字を通じて届けました。生徒たちの小さな「気づき」が各国を巻き込む大きなうねりとなったのです。このことがきっかけとなって、青少年赤十字が誕生しました。

気づき・考え・実行する(3つの態度目標)

JRCでは、「気づき・考え・実行する」をとても大切にしています。でも、自分で「気づく」ことは、容易ではありません。自分だけでなく周りにも気を配ることが大切になってくるからです。

学校生活の場面でも、あなたの小さな気づきからできることはたくさんあります。「困っている人の役に立ちたい」という思いは誰の心の中にもある自然な感情です。ちょっと勇気を出して、仲間と共に一歩踏み出してみませんか。

人の役に立つこと、人に喜んでもらうことは、自分の喜びにつながります。ぜひ、仲間とともに「気づき」から生まれた課題を解決するために「考え」、「実行」に移してみましょう。

JRCでは、「なすことによって学ぶ」ことを大切に、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標を掲げています。

【健康・安全】 生命と健康を大切にすること

【奉仕】 社会のため、人のために尽くす責任を自覚し、実行すること

【国際理解・親善】 広く世界の青少年を知り、仲良く助け合う精神を養うこと



〈津島市立天王中学校〉 〈名古屋立西城小学校〉 〈豊橋市立牟呂中学校〉 〈刈谷市立平成小学校〉 〈尾張トレセン〉 〈高校トレセン〉 〈豊田市立猿投中学校〉 〈岡崎市立額田中学校〉

日本赤十字社では、青少年赤十字活動資金(1円募金)を活用し、ネパールとバヌアの2か国で衛生教育や防災教育などの支援事業を行っています。2019年の本社スタディツアー先はバヌアツ。全国の高校生(8名)に交じり愛知県からも参加しました。また愛知県支部では、モンゴルと国際交流をしています。お互いのJRC活動や学校訪問等を通して、赤十字ならではの貴重な体験をしています。次はあなたが体験する番です。

ーJRC なぜなぜクイズ?ー

こたえは、欄外にあります。

① これは、青少年赤十字のマークです。赤十字の周りの桜は14個あります。これは何を表しているのでしょうか。

② 赤十字のキャラクターの名前は、何でしょう。

答え ①世界で14番目に青少年赤十字に参加したことを表しています。 ②ハートラちゃん